

学則の変更の趣旨等を記載した書類

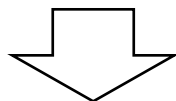
目次

- ① 学則変更（収容定員変更）の内容 …p.2
- ② 学則変更（収容定員変更）の必要性 …p.3
- ③ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容 …p.4

① 学則変更（収容定員変更）の内容

同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科博士課程前期課程及び後期課程は下記の通り令和8年度（2026年度）より入学定員及び収容定員を変更する。

現行（令和6年度（2024年度）学則）		
研究科専攻名	入学定員	収容定員
スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻博士課程前期課程	8	16
スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻博士課程後期課程	3	9



変更（令和8年度（2026年度）学則）		
研究科専攻名	入学定員	収容定員
スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻博士課程前期課程	10	20
スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻博士課程後期課程	6	18

② 学則変更（収容定員変更）の必要性

本専攻は、平成 22 年（2010 年）4 月に修士課程開設、平成 24 年（2012 年度）から博士課程へ課程変更を行い、以来前期課程は入学定員 8 名、収容定員 16 名、後期課程は入学定員 3 名、収容定員 9 名の定員規模で教育研究を推進するとともに、健康の増進やスポーツの社会的発展に寄与・貢献できる多様な人材を養成してきたが、近年は収容定員超過の状態が生じており、特に後期課程においては 2022 年度入試から 3 年連続で超過が続いた。

背景としては、第 3 期スポーツ基本計画 データ集（スポーツ庁）※¹によると、スポーツ市場規模は 2012 年の 5.5 兆円規模から 2018 年には 9.1 兆円規模へと拡大しており、増加傾向となっている。このように、健康志向の高まりやスポーツ産業の発展がみられること等に伴い、スポーツ健康科学分野の専門家に対する需要が高まっており、スポーツ健康科学研究科においても博士課程への進学希望者が増加していることがあげられる。特に後期課程については 2022 年度以降、3 年連続で受験者数、入学者数ともに定員を超過する人数となり、その需要については確かなものとなっている。過去 5 年間で合計 23 名が合格しているが、そのうち既に職を有する社会人の合格者が 4 割以上を占めており、このことからキャリアアップのための専門知識修得、実務経験を経たうえで研究能力の向上を目指す専門的社会人からの需要の高まり、スポーツ関連企業等からの博士課程への進学奨励、さらには生涯学習に対する意欲向上といった社会背景の変化が進んでいることが推測される。

収容定員を変更し、博士課程への進学者を増加させることは、上記の博士課程進学需要に応え、より多くの優秀なスポーツ健康科学分野の専門人材を育成することに加え、本研究科の教育力・研究力を向上させるためにも必要である。

③ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

【教育課程】

特段の教育課程の変更は予定しておらず、収容定員変更前と同等の教育内容を提供する。

【教育方法及び履修指導方法】

特段の教育方法及び履修指導方法の変更は予定しておらず、収容定員変更前と同等の教育内容を提供する。

【教員組織】

今回の収容定員変更に伴う教員の増員は行わないが、博士前期・後期課程の指導体制を維持するために必要な教員数は前期課程任用教員 16 名、後期課程任用教員 12 名（2025 年 4 月現在）と十分に確保されている。高まる大学院進学希望者に対して、前期および後期課程任用教員を引き続き確保し、大学院開設以来敷いてきた少人数教育による十分な研究指導体制を堅持するため、増員後の体制も問題はない。

【施設・設備】

施設・設備については、現状の施設・設備において教育上の支障はなく、収容定員変更前と同等の教育研究環境を提供することが可能であるため、今回の変更による特段の拡充は行わないが、今後も教育研究環境の整備・充実には積極的に取り組んでいく。

※1：第3期スポーツ基本計画 データ集

(https://www.mext.go.jp/sports/content/000021299_20220316_5.pdf)

以上